

( )

|

|

|

|

|

# コバシツューエイローター



## お 願 い

1.部品ご注文の際には型式・コード・品名・数量・機械番号をご明記ください。

2.部品は必ずコバシ純正部品をご使用願います。

3.改良のため、部品形状及び内容の一部を予告なく変更することがあります。

(市販の類似品を使用されると早期破損の原因となります。)

## ⚠ ご 注 意

### 1.パーツリストのご使用について

(1) 互換性の記号

旧←  
新← } 新旧部品兼用可

旧←  
新← } ✕ 新旧部品兼用不可

旧←  
新← } 矢印の方向のみに部品兼用可

(2) 実施機番の表示

新旧兼用不可部品と追加・廃止部品の実施機番を記載してあります。

また、イラスト図中に新旧の部品と実施機番を記載してあります。

### 2.ジョイント・オートヒッチアーム・ヒッチ・オプションの記載について

ジョイント総合版・オートヒッチアーム総合版・ヒッチ総合版・オプション総合版にて、  
変更を記載してあります。

最新の情報はそちらを参照ください。

なお、トラクタ装着の性格上、作業機機種・生産年式をわたる場合もあります。

ジョイント型式・オートヒッチアーム型式・ヒッチ型式・オプション型式を確認して、ご注文ください。

(作業機本体に属するジョイントは除く)

### 3.補用部品の塗装色について

現行量産機種の塗装色となっております。

在庫品につきましては生産時点の量産品塗装色となっております。

### 4.爪の記載について

爪は統廃合などにより、最新の情報は爪価格表を参照ください。

### 5.本パーツリストは改良のため予告なく変更することがあります。

## 補修用部品の供給年限について

この製品の補修部品の供給年限(期間)は、製造打ち切り後9年といたします。

従いまして、その後のご注文につきましては、在庫限りの供給とさせていただきます。



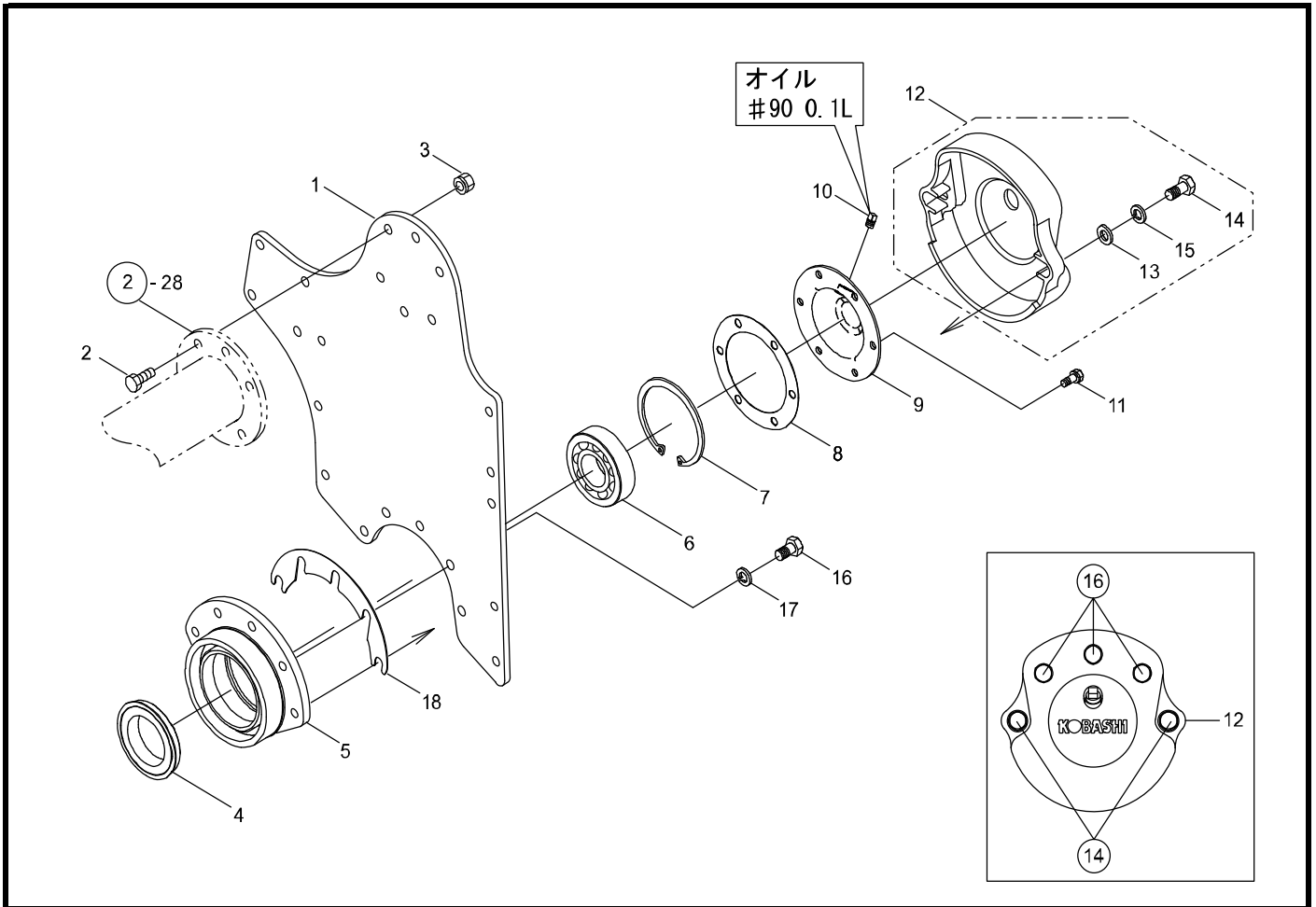






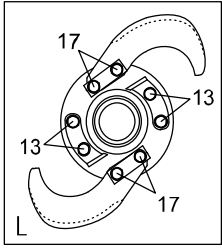




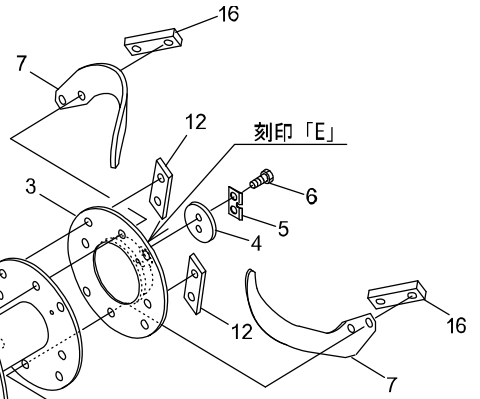



(鑄物)

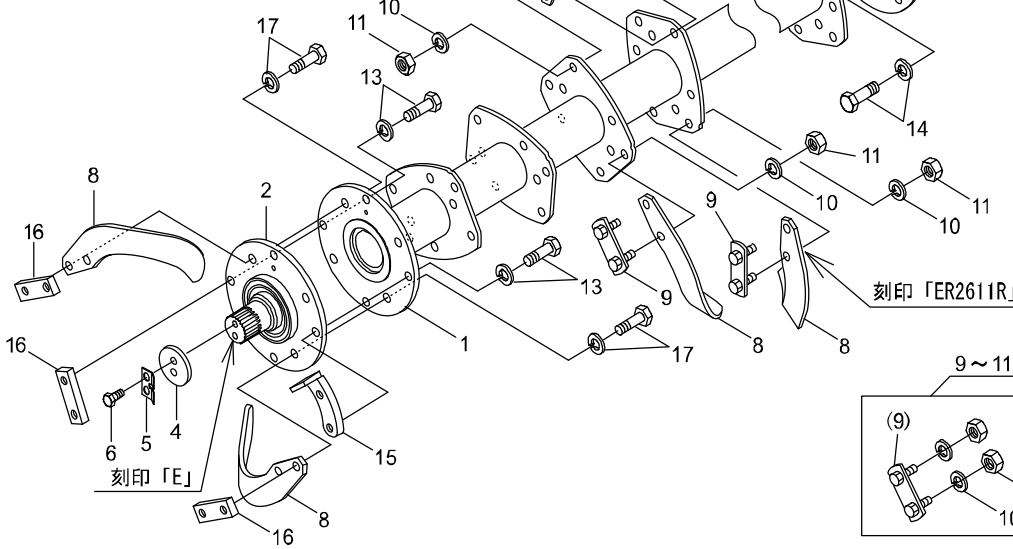




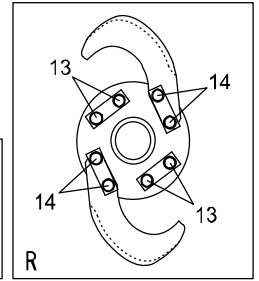
刻印「ER2611L」



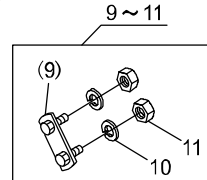
刻印「E」



刻印「ER2611R」



R




(スワッチ付 ナット付)

見出番号に 印の付いたツメは 爪以外を取付けているツメになります。







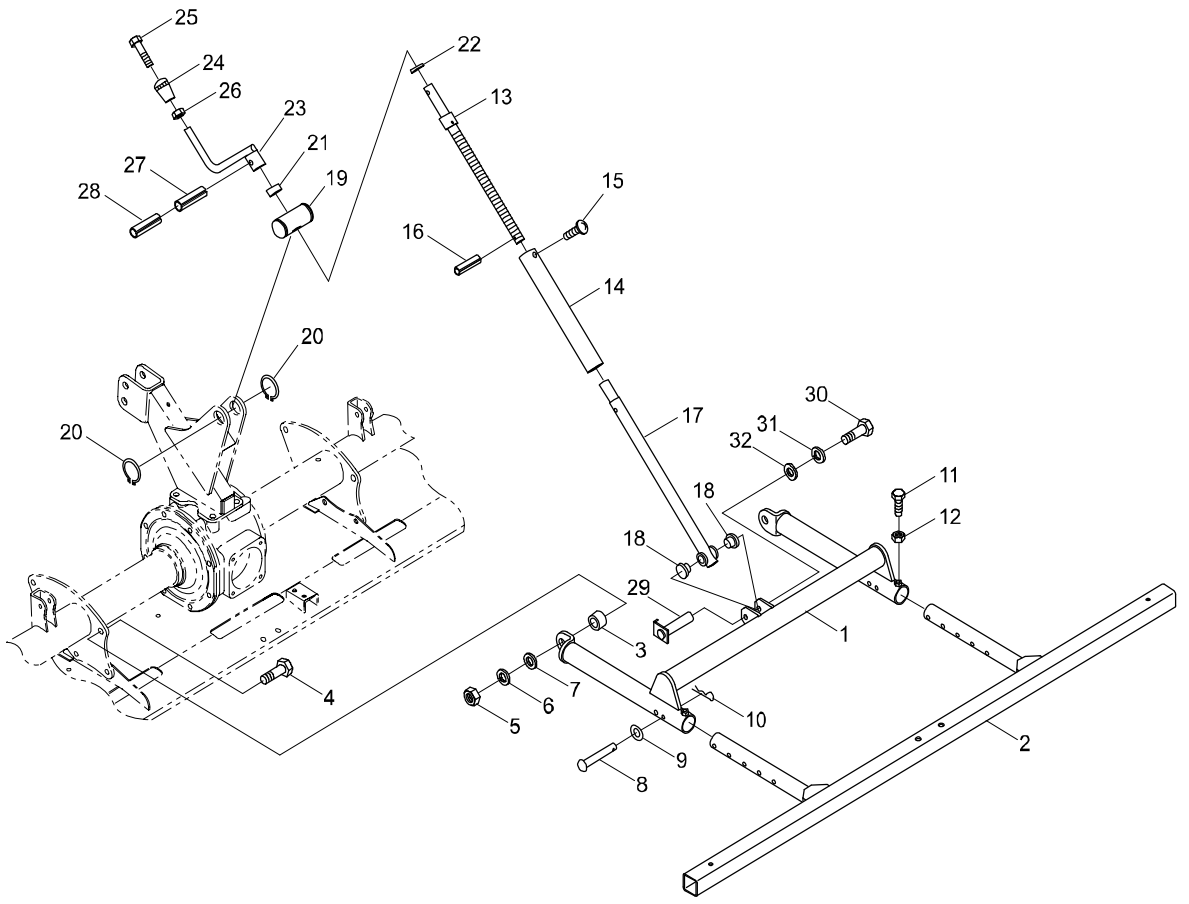
















6540062

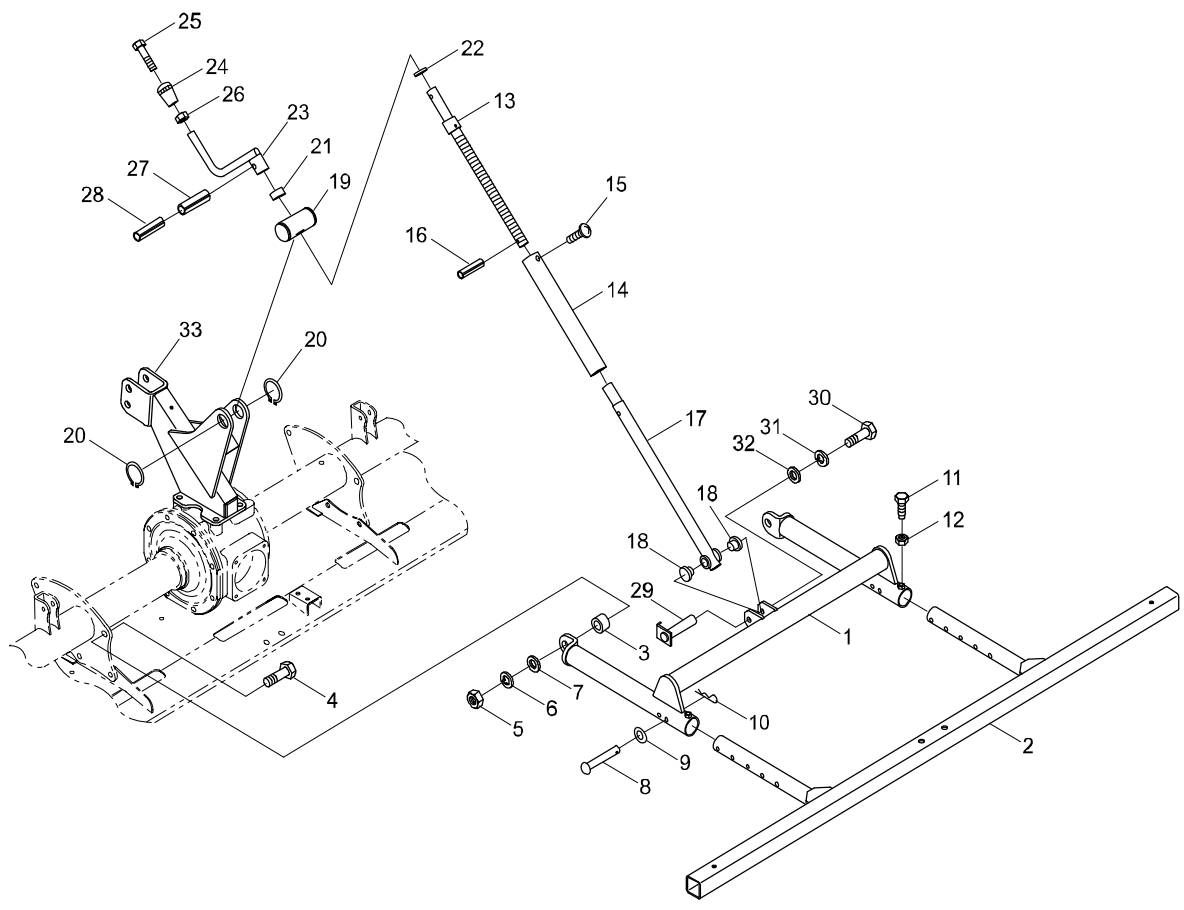













6540062













はじめにお読みください

フローティングシールメンテナンスキット102 D020007

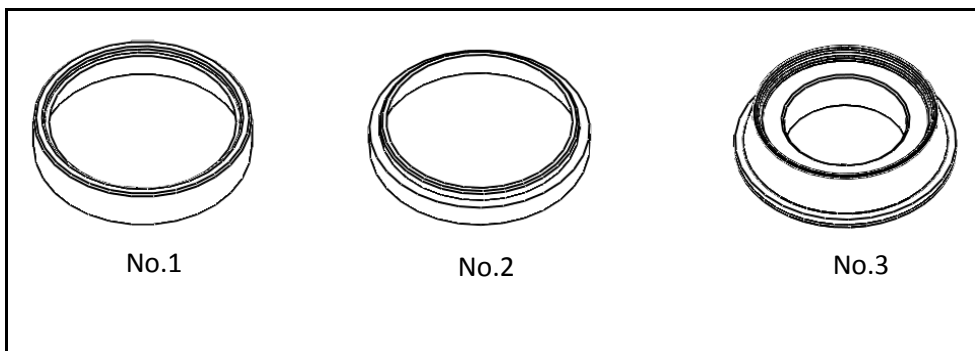
**フローティングシール組込要領書**

D020011  
-000

【注】フローティングシールはフローティングメンテナンスキットを必ず使用して組込んでください。

1

No	部品コード	部品名	数量
1	D020008	シールガイド1	1
2	D020009	シールガイド2	1
3	D020010	押込み金具	1
4	D020011	フローティングシール組込要領書(本書)	1
1~4	D020007	フローティングシールメンテナンスキット102	1



2

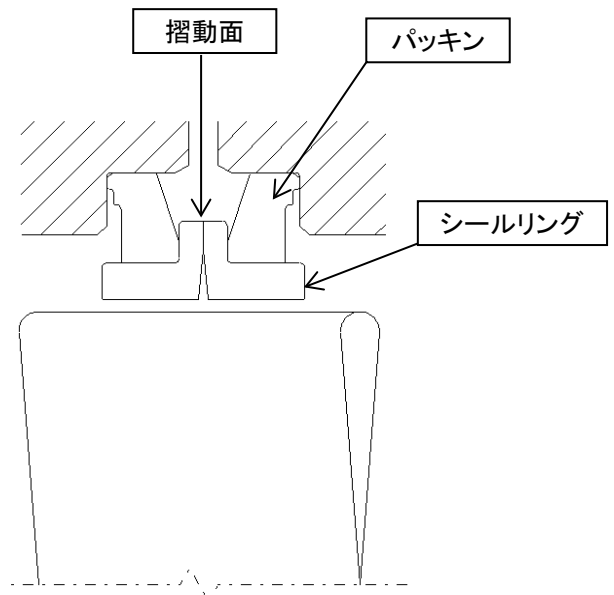


図 1

### ③ フローティングシール組込み前の点検



- 1) フローティングシールの点検は、組立作業の直前に行ってください。
  - 2) フローティングシールを取り扱う時は軍手等を使用せず、きれいに洗った乾いた素手または薄いゴム手袋で行ってください。
  - 3) 取り扱い中に誤ってシールリングに打痕がついた可能性のあるフローティングシールは使用しないでください。
  - 4) メンテナンス等でフローティングシールを分解した場合は、必ず新品に交換してください。
- 【守らないと】  
油モレが発生する可能性があります。

#### (1) シール組込工具の点検

○シール組込工具に鉄粉、土砂、塗料等の異物が付着していないか確認し、異物が付着している場合は、圧縮空気等で除去するか、きれいなウエスで拭き取ってください。

#### (2) シール組込溝(チェンケースプレート、コーウンフランジシャフトL)の点検

○シール組込溝にバリやカエリ、ゴミ等が無いことを確認してください。バリやカエリがある場合は、シールを破損させる原因になりますので、サンドペーパー等で軽くこすって除去してください。

#### (3) フローティングシールの点検

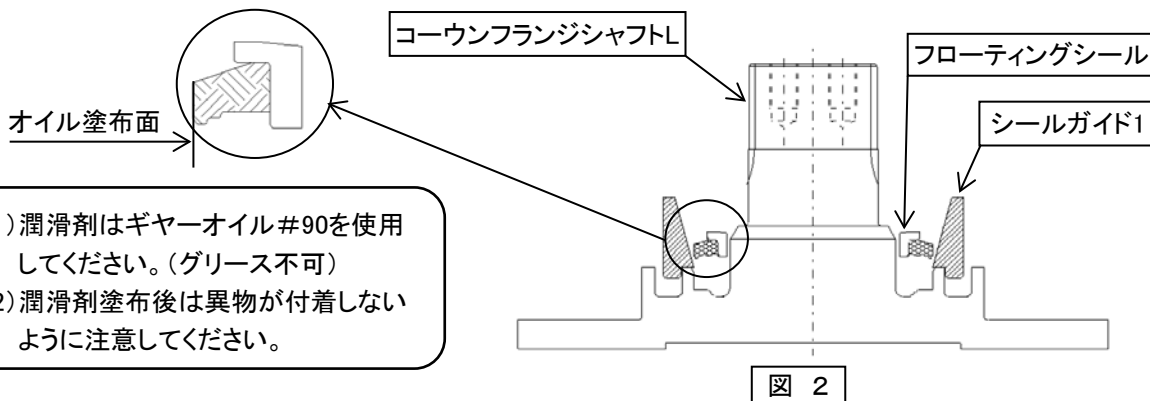
○フローティングシールに傷や大きい欠けが無いか確認してください。万一、傷や大きい欠けがある場合は、使用しないでください。

○摺動面に錆が発生していないか確認を行ってください。錆が発生しているフローティングシールは使用しないでください。

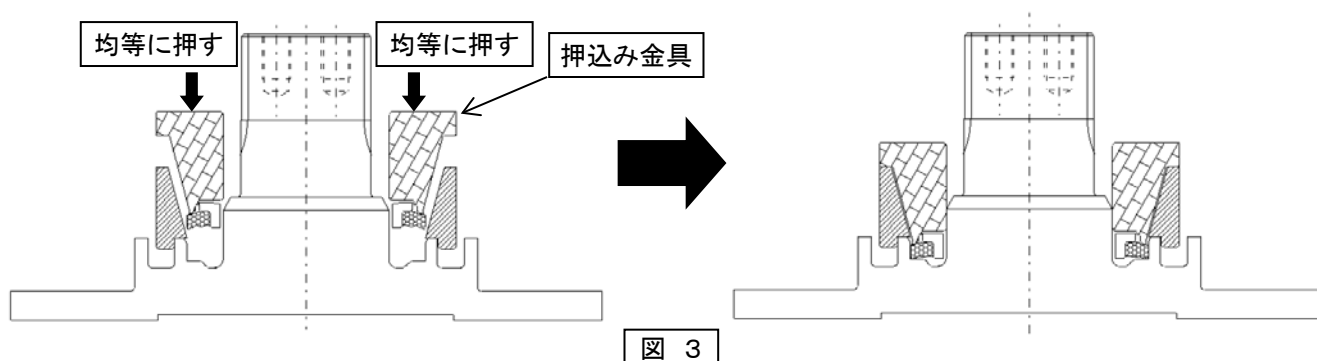
### ④ フローティングシールの組込み

#### ○コーウンフランジシャフトLへの組込み

(1) コーウンフランジシャフトLにシールガイド1をセットします。挿入性を高めるため、シールの外周面に薄くオイル(#90)を塗布し、シールガイド1にセット(図2)します。この時フローティングシールに大きな傾きが無いように注意してください。



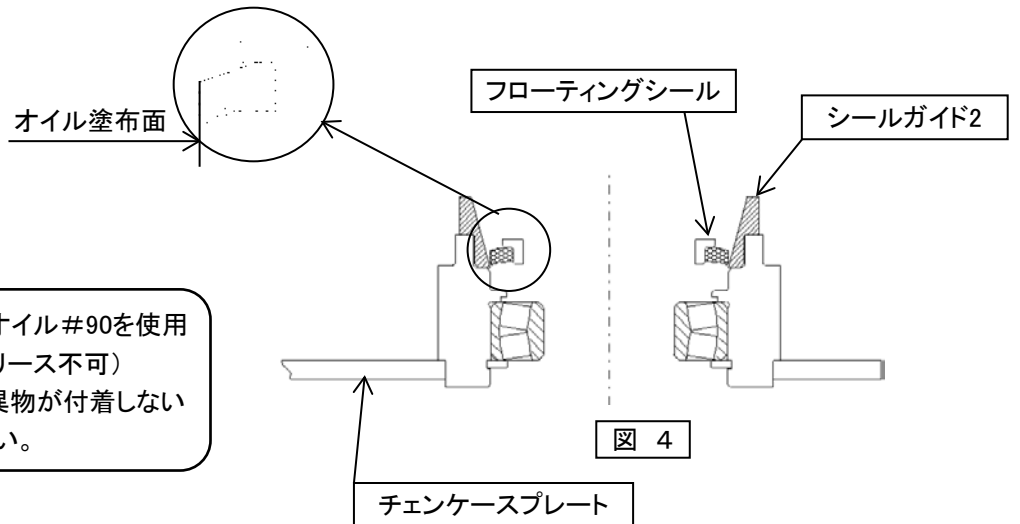
(2) 押込み金具をシールに当て、そのままシールガイド1に当たるまで手で強く押し込みます。(図3)



(3) 押込み金具とシールガイド1を取り外し、フローティングシールに捻れや浮き上がりが無いか確認してください。

### ○チェーンケースプレートへの組み込み

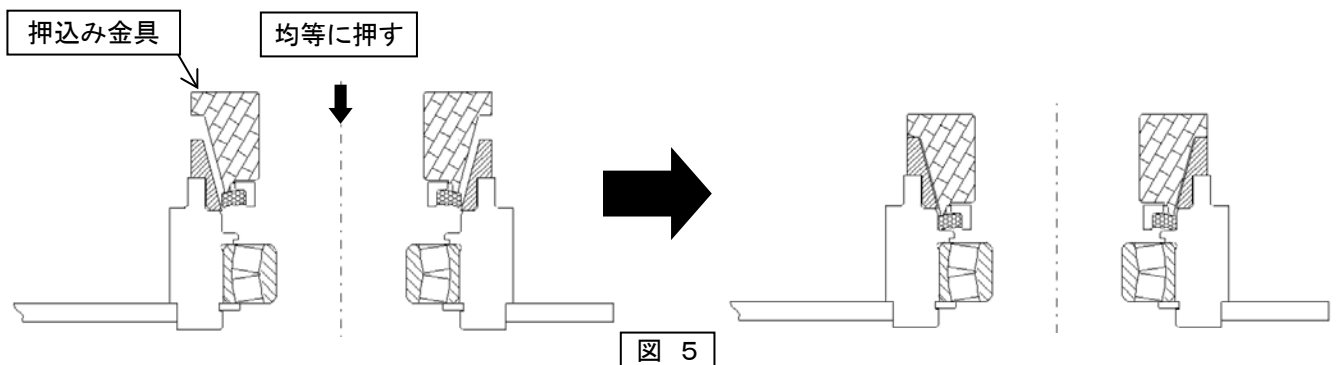
- (1)チェーンケースプレートにシールガイド2をセットします。挿入性を高めるため、シールの外周面に薄くオイル(#90)を塗布し、シールガイド2にセット(図4)します。この時フローティングシールに大きな傾きが無いように注意してください。



**注意**

- 1) 潤滑剤はギヤオイル#90を使用してください。(グリース不可)
- 2) 潤滑剤塗布後は異物が付着しないよう注意してください。

- (2) 押し込み金具をシールに当て、そのままシールガイド2に当たるまで手で強く押し込みます。(図5)



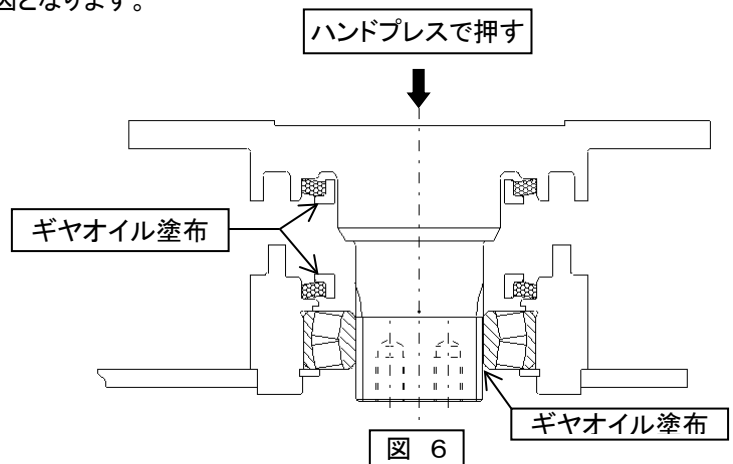
- (3) 押し込み金具とシールガイド1を取り外し、フローティングシールに捻れや浮き上がりが無いか確認してください。

### ○コーウンフランジシャフトLとチェーンケースプレートの組み込み

- (1)チェーンケースプレートとコーウンフランジシャフトLに組み込んだフローティング摺動面およびベアリング内周部にギヤオイル(#90)を薄く塗布してください。(図6)  
この時、フローティングシールに細かいゴミが付着しないように注意してください。
- (2)チェーンケースプレートを下にして平坦な台に置き、フローティングシール同士が向き合うように上からコーウンフランジシャフトLをハンドプレス等で組み付けてください。(図6)この時、ハンマー等を使用して叩き込まないください。フローティングシールが損傷しオイル漏れの原因となります。

**注意**

ハンマー等で叩き込まないでください。フローティングシールが損傷し、オイル漏れの原因になる恐れがあります。





---

## ⑤ フローティングシール交換後の注意事項

- (1) チェンケースにオイルを入れた後、耕うん軸を数回手回しさせてください。  
(手回しすることで、フローティングシールにオイルが行き渡り、潤滑を助ける効果があります。)
- (2) この時トルクが異常に高くなっていないことを確認してください。

# KOBASHI

小橋工業株式会社

〒701-0292 岡山市南区中畦684

インターネットでも弊社の情報がご覧いただけます。

<http://www.kobashiindustries.com>

■北海道営業所	〒071-1248	北海道上川郡鷹栖町8線西2号6番	☎ (0166) 49-0070
■東北営業所	〒024-0004	岩手県北上市村崎野13地割35-1	☎ (0197) 71-1160
■関東営業所	〒321-3325	栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台47-1	☎ (028) 687-1600
■岡山営業所	〒701-0165	岡山市北区大内田727	☎ (086) 250-1833
■九州営業所	〒861-2236	熊本県上益城郡益城町広崎1586-8 2F	☎ (096) 286-0202